



2024

# 学校だより 本荘 Smile

令和6年度 第35号  
令和6年11月15日  
熊本市立本荘小学校  
校長 西川 英臣

## 九 P 長崎大会に行ってきました！！三日連続の長崎でした（^^）



10月27日(日)は長崎で行われた第69回日本PTA九州ブロック研究大会に参加してきました。本荘小PTAを代表して参加しているのですから、張り切っていました。修学旅行の2日間に加えて3日連続の長崎でしたが、大変よい学びとなりました。

たった半日の全体会でしたが、2年前の沖縄大会に参加して以来の九P大会でした。当時は前任校PTAの助言者として参加したために自らが学ぶチャンスが少なかったように思います。飛行機の時間もあって、最終日の全体会の途中で抜けなければならず、記念講演は、地元沖縄の有名人ガレッジセールさんのゴリさんのとてもよいお話だったのですが、最初のほうしか聞けませんでした。ですので今回は、学ぶということを自分のためにして参加したのでした。そういった意味からも、とても自身のためになる大会となりました。

まず、全体会の中でPTAの歌なるものを全員で合唱したのですが、この歌詞が古きよき時代を表すもので、学校と家庭をつなぐPTAの在り方をあらわしたものだなぁと感慨深く感じながら歌っておりました。また、PTAに尽力された方々への感謝状の贈呈などもありましたが、自分のお仕事もありながら学校のため、こどものために尽力してこられた方々がこんなにもおられるのかと思うと感謝の気持ちでいっぱいになりました。本荘小のPTA役員の方々はじめ、多くの保護者の皆様に学校の教育活動に対して、多大なご理解ご協力をいただいておりますが、幸せなことだと改めて感じた校長でした。(裏面へ)

記念講演は、放送作家の野々村由紀子さんのお話でした。野々村さんは知る人ぞ知るお笑いコンビの二丁拳銃の修士さんのおつれあい、ご自身ももともとは芸人さんだったとのこと。私はあまりテレビを見ていなかったので知りませんでした。テレビ番組のコメンテーターとしても有名なのだそうです。しかし、今回の講演では、テレビの人としてのお話ではなく、一人の母としてのご自身の考えをわかりやすくお話しされていました。特に思春期のこどもをもつ親としての体験談は、涙を誘う場面もありました。

何よりも「強く生きる」ためのヒントをすいぶんお話してくださいました。今号の虫眼鏡で載せていますが、乱雑な(笑)メモを取っておりますので、お話を想像されてみてください。

私が印象的だったキーワードは「自分の幸せから逃げな」「他人と比べない」「小さな幸せを見つける」といったものです。人はついつい自分と人を比べてしまいがち、さらには自分のことを不幸と思いがちではないでしょうか。私にも同じような傾向があり、思い悩むことも少なくありません。しかし、野々村さんが話されるように「自分の幸せ」を持つことができます。学校生活の中のこどもたちの笑顔もその一つです。また、仲間である先生方との毎日力を与えてくれるものです。それらがあるから毎日明るい笑顔で過ごすことができるのです。このようなお話を聞くことができラッキーだったと思っております。

先日、市のPTA研修会がありました。役員さんが参加されていましたが、ここでも良いお話を聞くことができました。PTAの研修会というとお堅いイメージがあるかもしれませんが、これから、機会があればぜひ参加されてください。行って損はないと思います。いや、むしろ学ぶことのほうが多くきっと力を分けてもらえることになると思います。ぜひ、参加されてください。3日連続の長崎は、すばらしい3日間になったことをお伝えします。(校長)

## 校長先生の虫眼鏡 「グラフィックレコードにチャレンジ」

最近の研修会等でひそかにはやっているといわれる「グラレコ」。グラフィックレコーディングの略で、これまでは研修会などでは、必死にメモを取ることが多かったのですが、それをイラスト入りにしてイメージとしてノートに残すことなんだそうです。検索してみるといっぱい出てきますので、試してみたいかがでしょうか。私のはグラレコというよりも下手なイラスト入りのメモという感じで参考にはならないと思いますが・・・(笑)。

### 記念講演

#### 演題 強く生きるためのヒント —野々村友紀子が伝えたい人生で大事なこと—



講師  
野々村 友紀子 氏

1974年8月5日生まれ放送作家。大阪府出身。2丁拳銃・修士の嫁。芸人として活動後、放送作家へ転身。現在は吉本総合芸能学院（NSC）東京校の講師、書籍・脚本等の作家業に加え、メディア出演など多方面で活躍中。

2021年12月に7冊目の書籍「アカントスカン」（学研プラス）を出版。

